

## 航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 「無線局」の定義として、正しいものはどれか。  
次のうちから選べ。

- 1 無線設備及び無線設備を管理する者の総体をいう。
- 2 無線設備及び無線設備の操作の監督を行う者の総体をいう。
- 3 無線設備及び無線設備の操作を行う者の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。
- 4 無線設備及び無線従事者の総体をいう。ただし、発射する電波が著しく微弱で総務省令で定めるものを含まない。

〔2〕 次の記述は、航空機局等の条件について述べたものである。電波法施行規則の規定に照らし、☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

航空機局及び航空機地球局（航空機の安全運航又は正常運航に関する通信を行わないものを除く。）の受信設備は、なるべく、航空機の ☐ によって妨害を受けないような箇所に設置されていなければならない。

- 1 機械的雑音
- 2 振動
- 3 衝撃
- 4 電氣的雑音

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、航空機局（航空運送事業の用に供する航空機のを除く。）の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。  
次のうちから選べ。

- 1 5ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 100ワット

〔4〕 無線局の免許人は、電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 2 その無線局の電波の発射を停止させる。
- 3 その無線局の免許人を告発する。
- 4 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 2 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 4 運用の停止を命じた無線局を運用していると認めるとき。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 3 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

# 航空特殊無線技士試験問題

## 法 規

- 〔7〕 次の記述は、呼出符号の使用の特例について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

航空局又は航空機局は、連絡設定後であって のおそれがないときは、当該航空機局の呼出符号又は呼出名称に代えて、総務大臣が別に告示する簡易な識別表示を使用することができる。ただし、航空機局は、航空局から当該識別表示により呼出しを受けた後でなければこれを使用することができない。

- 1 妨害
- 2 途絶
- 3 混同
- 4 混信

- 〔8〕 ノータムに関する通信の優先順位はどのように定められているか。次のうちから選べ。

- 1 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
- 2 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
- 3 緊急の度に応じ、無線方向探知に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
- 4 航空機の安全運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

- 〔9〕 無線局が電波を発射して行う無線電話の機器の試験中、しばしば確かめなければならないことはどれか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 2 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出符号又は呼出名称の送信が5秒間を超えていないかどうか。
- 3 空中線電力が許容値を超えていないかどうか。
- 4 その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。

- 〔10〕 遭難航空機局（遭難通信を宰領したものを除く。）は、その航空機について救助の必要がなくなったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その航空機を運行する者にその旨を通知する。
- 2 遭難通信を宰領した無線局にその旨を通知する。
- 3 航空交通管制の機関にその旨を通知する。
- 4 直ちに責任航空局にその旨を通知する。

- 〔11〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
- 2 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 3 無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない。
- 4 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。

- 〔12〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その通信が終了した後に呼出しを行う。
- 2 5分間以上待つて呼出しを行う。
- 3 現に通信を行っている他の無線局にその通信の終了時刻を確かめ、終了を待つて呼出しを行う。
- 4 自局の行おうとする通信が長文の内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。